

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／株式	
信託期間	無期限（2025年6月27日設定）	
運用方針	信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。	
主要運用対象	九州未来ファンド	九州関連株式*および明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドを主要投資対象とします。 *わが国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含む）のうち、以下の企業の株式を指します。 ・九州7県（除く沖縄）に本社（これに準ずるものを含む）がある企業 ・九州7県（除く沖縄）に工場や店舗等があるなど九州の経済に貢献している企業 （九州関連株式の投資対象は主として日本企業の株式ですが、九州地域の経済に貢献し海外の金融商品取引所に上場されている企業の株式（預託証券（DR）を含む）を組み入れる場合があります。）
	明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド	わが国の金融商品取引所に上場されている株式を主要対象とします。
組入制限	九州未来ファンド	株式への実質投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
	明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。
分配方針	年1回（毎年3月10日。休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて、収益の分配を行います。 ①分配対象額の範囲は、経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。 ②収益分配金額は、信託財産の成長に資することを目的に、委託者が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、必ず分配を行うものではありません。 ③収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。	

九州未来ファンド

運用報告書（全体版）

第1期

（決算日 2026年3月10日）

受益者のみなさまへ

平素は「九州未来ファンド」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、第1期の決算を行いましたので、期中の運用状況につきましてご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

MYAM 明治安田アセットマネジメント株式会社

東京都千代田区大手町二丁目3番2号

ホームページ <https://www.myam.co.jp/>

〈運用報告書のお問い合わせ先〉
サポートデスク 0120-565787
（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

◎設定以来の運用実績

決算期	基準価額			東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)		株式組 比率	純資 産額
	(分配落)	税金 分配	み 騰 率	(参考指数)	騰 落 率		
	円	円	%		%	%	百万円
(設定日)2025年6月27日	10,000	—	—	4,884.28	—	—	1,235
(第1期)2026年3月10日	12,973	300	32.7	6,463.16	32.3	97.3	4,144

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」には実質比率を含めています。

(注3) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。

(注4) 設定日の純資産総額は、設定元本を表示しております。

(注5) 当ファンドは、九州関連株式および明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドを主要投資対象とします。特定の指数を上回るまたは連動をめざした運用を行っていないため、また、同様のユニバースから構成される適切な指数がないため、ベンチマークは設定しておりません。

(注6) 東証株価指数 (TOPIX) は、株式会社 J P X 総研が算出する株価指数であり、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。TOPIX に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社 J P X 総研又は株式会社 J P X 総研の関連会社に帰属します。

(注7) 設定日の参考指数は設定日前日の値を用いております。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)		株式組 比率
		騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	
	円	%		%	%
(設定日)2025年 6月27日	10,000	—	4,884.28	—	—
6月末	10,063	0.6	4,974.53	1.8	96.2
7月末	10,463	4.6	5,132.22	5.1	96.7
8月末	10,962	9.6	5,363.98	9.8	96.6
9月末	11,180	11.8	5,523.68	13.1	93.3
10月末	11,190	11.9	5,865.99	20.1	95.2
11月末	11,730	17.3	5,949.55	21.8	97.1
12月末	12,098	21.0	6,010.98	23.1	98.3
2026年 1月末	12,754	27.5	6,288.77	28.8	94.2
2月末	14,248	42.5	6,947.17	42.2	98.6
(期 末)2026年 3月10日	13,273	32.7	6,463.16	32.3	97.3

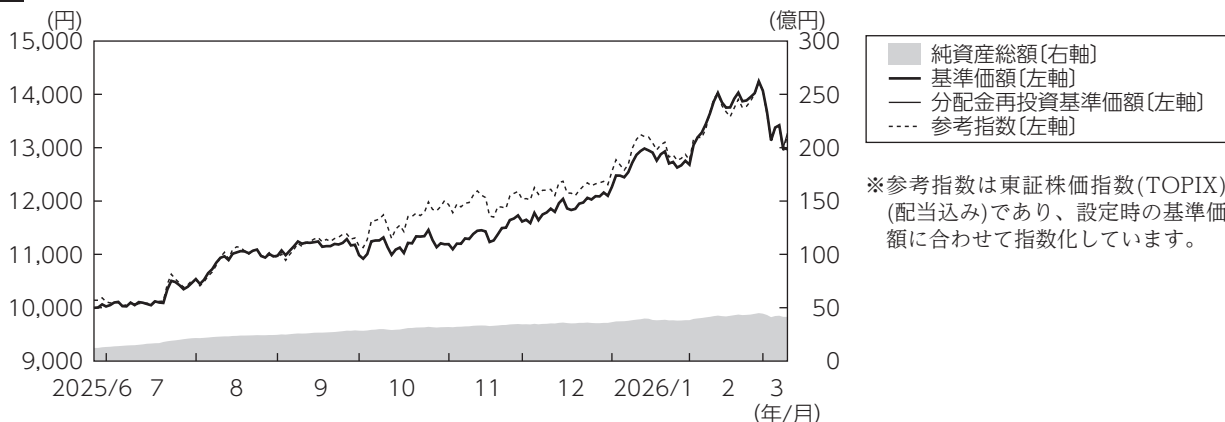
(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

(注2) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「株式組入比率」には実質比率を含めています。

(注3) 設定日の参考指数は設定日前日の値を用いております。

運用経過の説明

■ 基準価額等の推移



設定日(2025年6月27日)：10,000円

第1期末(2026年3月10日)：12,973円(既払分配金300円)

騰落率：32.7%(分配金再投資ベース)

※参考指数は東証株価指数(TOPIX)(配当込み)であり、設定時の基準価額に合わせて指数化しています。

※分配金再投資基準価額は分配金実績があった場合、分配金(税込み)を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

※騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

■ 基準価額の主な変動要因

ファンドの運用方針に従い、九州関連株式および明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドを主要投資対象とし、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行いました。投資対象資産の価格変動等による基準価額の変動要因は以下の通りとなりました。

(上昇要因)

- ・設定時から2026年1月にかけて、半導体関連企業の好調な業績が続く中、日米関税交渉の合意に加え、新首相の下で積極的な財政政策が行われるとの見方が広がったことから、国内株式相場が堅調に推移したこと
- ・2月には、衆議院議員選挙を経て強固な基盤の下で政権運営が行われるとの見方から、国内株式相場が一段高となったこと

(下落要因)

- ・期末近くには米国・イスラエルによる対イラン軍事攻撃により、中東情勢の緊迫化や原油高長期化への懸念が急速に広がり、国内株式相場が大幅に下落したこと

投資環境

当期の国内株式相場は上昇しました。半導体関連企業的好調な業績が続く中、設定時から2026年1月にかけては日米関税交渉の合意に加え、新首相の下で積極的な財政政策が行われるとの見方が広がったことから堅調に推移しました。その後は、衆議院議員選挙を経て強固な基盤の下で政権運営が行われるとの見方もあり、一段高となりましたが、期末近くには米国・イスラエルによる対イラン軍事攻撃により、中東情勢の緊迫化や原油高長期化への懸念が急速に広がったことから大幅に下落し、当期の上昇幅を縮小しました。

当該投資信託のポートフォリオ

九州未来ファンド

運用方針に基づき、九州関連株式に直接投資するとともに明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドを組み入れた運用を行いました。九州関連株式の運用においては、九州関連株式の中から、財務状況や流動性、バリュエーション等を考慮して銘柄選定を行いました。

九州関連株式については外国株式を含めて、30銘柄でポートフォリオを構築したのち、期末でも30銘柄としました。

また、九州関連株式とマザーファンドの配分比率はリスクコントロールの観点から投資対象銘柄の時価総額や流動性を考慮して適宜変更いたしました。当期末における九州関連株式とマザーファンドの配分比率はそれぞれ38.8%、59.2%としました。

当期は、九州関連株式、明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド、ともに上昇したことが基準価額にプラスに寄与しました。

明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド

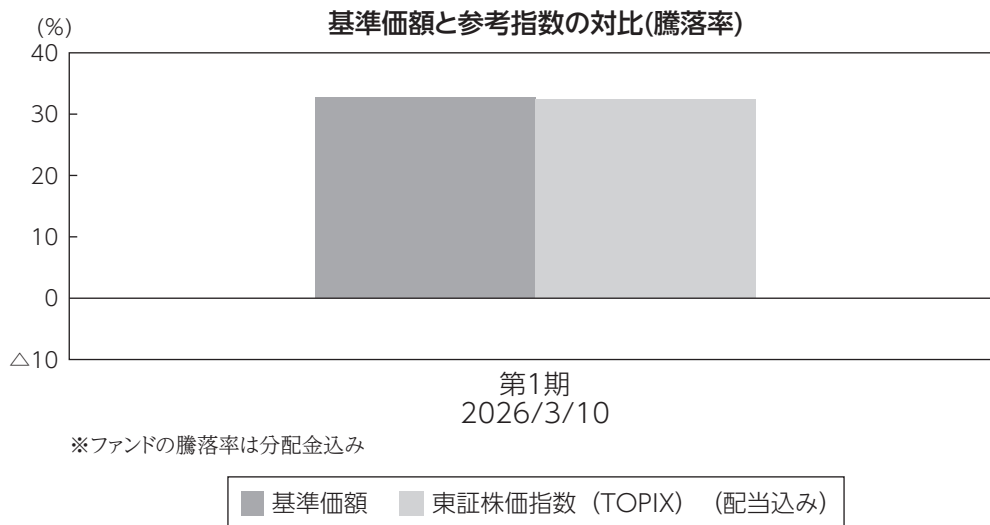
運用方針に基づき、わが国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含む）を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持しました。

銘柄選定にあたっては、予想配当利回りが市場平均を上回り、配当や業績等の安定性が高いと判断される銘柄を厳選し投資を行いました。

当期は、期首30銘柄からスタートし、期中に組入銘柄の見直しを行い、期末においては36銘柄となりました。予想配当利回り、企業価値向上のサステナビリティ（持続可能性）を評価し、期中、しずおかフィナンシャルグループ、日産化学、AGCなどを新規に組み入れた一方、東京海上ホールディングス、みずほフィナンシャルグループなどを売却しました。

当期は、三井物産、三菱商事などの総合商社のほか、みずほフィナンシャルグループなどが基準価額に対してプラスに寄与した一方で、三菱UFJフィナンシャル・グループ、本田技研工業、インフロンティア・ホールディングスなどがマイナスに影響しました。

■ 当該投資信託のベンチマークとの差異



当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。
 上記グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。当期の基準価額の騰落率(分配金込み)は+32.7%となり、参考指数の騰落率は+32.3%となりました。

■ 分配金

- ・ 収益分配は、分配対象額の水準、基準価額水準等を勘案し、1万口当たり300円(税込み)とさせていただきます。
- ・ 収益分配にあてず信託財産内に留保した利益の運用については、特に制限を設けず、委託者の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳 (単位：円・%、1万口当たり、税引前)

項目	第1期 (2025年6月27日～2026年3月10日)
当期分配金	300
(対基準価額比率)	2.260
当期の収益	300
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,972

(注1)対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注2)当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針

九州未来ファンド

引き続き、九州関連株式に投資するとともに、明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドを組み入れた運用を行います。九州関連株式の運用においては、九州7県（除く沖縄県）に本社（これに準ずるものを含む）がある企業、九州7県（除く沖縄県）に工場や店舗等があるなど九州の経済に貢献している企業の中から時価総額ならびに財務状況や流動性、バリュエーション等を考慮して銘柄を選定します（九州地域の経済に貢献し海外の金融商品取引所に上場している企業（預託証書（DR）等を含む）を組み入れる場合があります。）。九州関連株式と明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンドの配分比率については、リスクコントロールの観点から投資対象銘柄の時価総額や流動性等を考慮し適宜変更します。

明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド

引き続き、わが国の金融商品取引所に上場されている株式（これに準ずるものを含む）を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持する方針です。

銘柄選定にあたっては、予想配当利回りが市場平均を上回り、配当や業績等の安定性が高いと判断される銘柄を厳選し投資を行います。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2025年6月27日～2026年3月10日		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	120円	1.030%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×期末の信託報酬率 ※期中の平均基準価額は11,632円です。
(投信会社)	(63)	(0.542)	ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、法定書類等の作成等の対価
(販売会社)	(54)	(0.465)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	(3)	(0.023)	ファンド財産の管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	8	0.073	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数
(株式)	(8)	(0.073)	売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) その他費用	1	0.011	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	(1)	(0.006)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(その他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要する諸費用、信託財産に関する租税等
合計	129	1.114	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

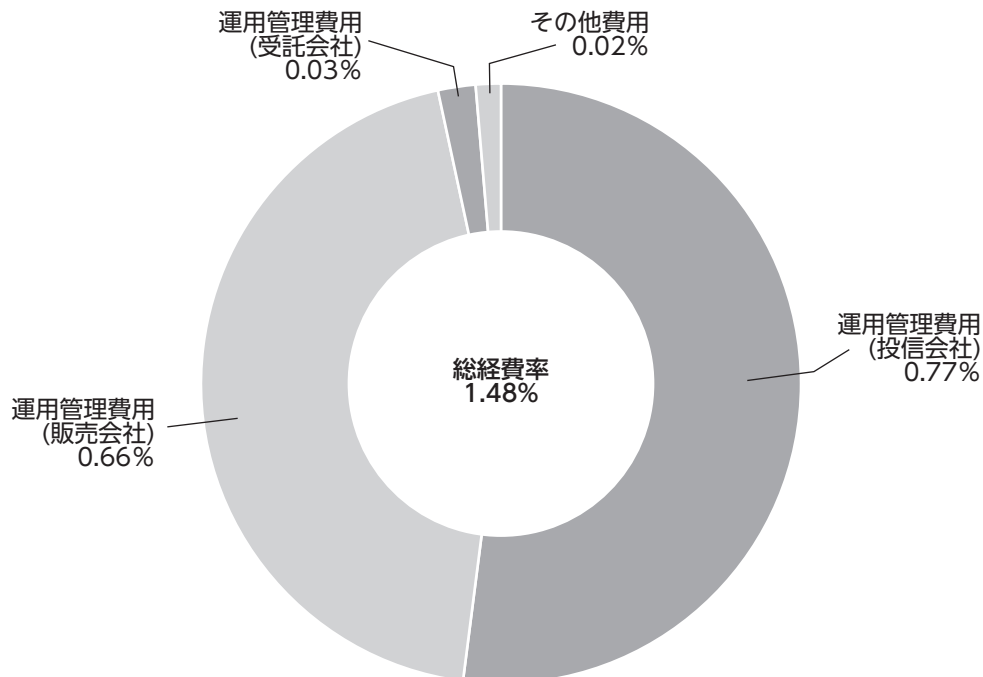
(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注4) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報) 総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.48%です。



(注)費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注)各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注)各比率は、年率換算した値です。

(注)上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

◎売買及び取引の状況(2025年6月27日～2026年3月10日)

○株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国 内	上 場	千株 584 (23)	千円 1,376,994 ()	千株 46	千円 194,650
外 国	ア メ リ カ	百株 24	千米ドル 608	百株 —	千米ドル —

(注1)金額は受渡し代金。

(注2)単位未満は切り捨て。

(注3)()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○親投資信託の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド	千口 675,100	千円 2,491,700	千口 137,982	千円 572,000

(注)単位未満は切り捨て。

◎株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	1,662,369千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	1,175,204千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	1.41

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

項 目	当 期
	明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	77,179,147千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	81,338,494千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.94

(注)(b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◎利害関係人との取引状況等(2025年6月27日～2026年3月10日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○国内株式

上場株式

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
建設業 (9.7%)		
若築建設	5.6	25,284
クラブティア	12.5	118,412
化学 (3.6%)		
旭有機材	5.6	33,264
新日本製薬	9.9	20,394
ガラス・土石製品 (8.3%)		
TOTO	21.5	122,872
機械 (5.6%)		
平田機工	11.6	31,900
マルマエ	14.6	51,027
電気機器 (9.6%)		
安川電機	26	117,598
三井ハイテック	32.4	24,202
その他製品 (2.2%)		
三井松島ホールディングス	22.6	31,685
電気・ガス業 (9.4%)		
九州電力	61.2	105,386
西部ガスホールディングス	12.9	32,895
陸運業 (18.6%)		
西日本鉄道	33.7	100,880
山九	9.9	94,505
九州旅客鉄道	20.6	78,383
情報・通信業 (2.8%)		
オプティム	41.9	18,645

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
ゼンリン	22.1	22,343
卸売業 (5.4%)		
ヤマエグループホールディングス	9.7	28,430
小野建	16.1	23,328
リックス	7.5	27,825
小売業 (10.8%)		
コスモス薬品	8.8	59,224
力の源ホールディングス	15.9	23,913
ロイヤルホールディングス	17.6	26,224
リンガーハット	10.3	22,999
MrMaxHD	34.6	26,469
銀行業 (8.8%)		
西日本フィナンシャルホールディングス	32.2	130,313
その他金融業 (1.6%)		
ジェイリース	17	22,865
サービス業 (3.6%)		
新日本科学	16.5	25,789
ワールドホールディングス	9.9	27,353
合 計	株 数	金 額
銘柄数 <比率>	29	<35.6%>

(注1) 銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2) 評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3) 評価額の単位未満は切り捨て。

○外国株式

上場、登録株式

銘柄	柄	当 期 末		業 種 等	
		株 数	評 価 額		
			外 貨 建 金 額		邦 貨 換 算 金 額
(アメリカ・・・ニューヨーク市場)		百株	千米ドル	千円	
TAIWAN SEMICONDUCTOR-SP ADR		24	840	132,606	半 導 体 ・ 半 導 体 製 造 装 置
合 計	株 数 ・ 金 額	24	840	132,606	
	銘柄数 <比率>	1	—	<3.2%>	

(注1) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注2) 邦貨換算金額欄の< >内は、純資産総額に対する各国別株式評価額の比率。

(注3) 株数・評価額の単位未満は切り捨て。

(注4) 銘柄コード等の変更があった場合は、変更前後を別銘柄として記載しております。

○親投資信託残高

種 類	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額
明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド	千口	千口	千円
	—	537,118	2,451,729

(注) 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

◎投資信託財産の構成

2026年3月10日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
株 式	1,607,022	37.7
明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド	2,451,729	57.6
コール・ローン等、その他	198,420	4.7
投資信託財産総額	4,257,171	100.0

(注1) 評価額の単位未満は切り捨て。

(注2) 当期末における外貨建純資産(133,000千円)の投資信託財産総額(4,257,171千円)に対する比率は3.1%です。

(注3) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1米ドル=157.73円です。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2026年3月10日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	4,257,171,230円
コール・ローン等	194,056,907
株 式(評価額)	1,607,022,137
明治安田高配当サステナビリティ 日本株マザーファンド(評価額)	2,451,729,900
未 収 配 当 金	4,358,550
未 収 利 息	3,736
(B) 負 債	112,378,150
未 払 収 益 分 配 金	95,850,316
未 払 解 約 金	4,634,217
未 払 信 託 報 酬	11,849,092
そ の 他 未 払 費 用	44,525
(C) 純 資 産 総 額 (A-B)	4,144,793,080
元 本	3,195,010,542
次 期 繰 越 損 益 金	949,782,538
(D) 受 益 権 総 口 数	3,195,010,542口
1万口当たり基準価額(C/D)	12,973円

◎損益の状況

自 2025年6月27日
至 2026年3月10日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	15,387,489円
受 取 配 当 金	15,016,035
受 取 利 息	371,205
そ の 他 収 益 金	249
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	760,230,812
売 買 益	891,312,458
売 買 損	△ 131,081,646
(C) 信 託 報 酬 等	△ 31,856,535
(D) 当 期 損 益 金 (A+B+C)	743,761,766
(E) 追 加 信 託 差 損 益 金	301,871,088
(配 当 等 相 当 額)	(3,206,768)
(売 買 損 益 相 当 額)	(298,664,320)
(F) 計 (D+E)	1,045,632,854
(G) 収 益 分 配 金	△ 95,850,316
次 期 繰 越 損 益 金 (F+G)	949,782,538
追 加 信 託 差 損 益 金	301,871,088
(配 当 等 相 当 額)	(7,394,334)
(売 買 損 益 相 当 額)	(294,476,754)
分 配 準 備 積 立 金	647,911,450

(注1) 当ファンドの設定元本額は1,235,508,262円、期中追加設定元本額は2,555,676,363円、期中一部解約元本額は596,174,083円です。

(注2) 1口当たり純資産額は1.2973円です。

(注3) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注4) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注5) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注6) 計算期間末における費用控除後の配当等収益(45,645,021円)、費用控除後の有価証券等損益額(698,116,745円)、および信託約款に規定する収益調整金(301,871,088円)より分配対象収益は1,045,632,854円(10,000口当たり3,272円)であり、うち95,850,316円(10,000口当たり300円)を分配金額としております。

◎収益分配金のお知らせ

1万口当たりの分配金(税込み)	300円
-----------------	------

※分配金をお支払いする場合

分配金は、決算日から起算して5営業日までにお支払いを開始しております。

※分配金を再投資する場合

お手取り分配金は、決算日現在の基準価額に基づいてみなさまの口座に繰入れて再投資いたしました。

課税上の取扱いについて

- 分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、普通分配金と元本払戻金（特別分配金）に分かれます。分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額普通分配金となります。また、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は、下回る部分に相当する金額が元本払戻金（特別分配金）、残りの部分が普通分配金となります。
- 元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時における個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。
- 課税上の取扱いの詳細については、税務署等にお問い合わせください。

〈補足情報〉

下記は、明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド全体(22,457,059千口)の内容です。
後掲する当該マザーファンド運用報告書の決算日と当ファンドの決算日が異なっておりますので、
当ファンドの決算日現在における、マザーファンドの組入資産の内容を以下に記載しております。

○国内株式
上場株式

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
建 設 業 (10.1%)		
長谷工コーポレーション	498.5	1,555,818
大和ハウス工業	389.4	2,077,449
積水ハウス	851.9	3,071,951
エクシオグループ	1,116.3	3,089,918
インフロンア・ホールディングス	206.6	488,609
化 学 (8.1%)		
日産化学	395	2,515,360
三井化学	1,795.9	3,680,697
積水化学工業	536.1	1,487,945
関西ペイント	191.6	492,316
医 薬 品 (6.4%)		
武田薬品工業	685.3	3,917,860
アステラス製薬	1,062.9	2,569,560
ゴ ム 製 品 (2.8%)		
ブリヂストン	828	2,825,964
ガラス・土石製品 (0.5%)		
A G C	82.9	489,524
機 械 (5.8%)		
小松製作所	549.1	3,935,948
T H K	385.3	1,923,417
電 気 機 器 (3.2%)		
ブラザー工業	99.5	295,564
キヤノン	663.9	2,969,624
輸 送 用 機 器 (6.0%)		
トヨタ自動車	836.9	2,906,553
アイシン	479.5	1,168,062
本田技研工業	1,399.7	2,052,660
情 報 ・ 通 信 業 (8.7%)		
N T T	18,277.7	2,816,593

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
K D D I	1,046	2,834,137
ソ フ ト バ ン ク	14,714.5	3,163,617
卸 売 業 (13.6%)		
三井物産	786	4,631,112
住友商事	725.3	4,186,431
三菱商事	960.2	4,970,955
小 売 業 (2.5%)		
丸井グループ	790.4	2,503,196
銀 行 業 (13.4%)		
しずおかフィナンシャルグループ	673.6	1,813,668
三菱UFJフィナンシャル・グループ	1,333.4	3,628,848
三井住友トラストグループ	808.6	4,154,586
三井住友フィナンシャルグループ	748	4,006,288
保 険 業 (7.7%)		
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	906.1	3,705,042
第一生命ホールディングス	2,725.9	4,068,405
そ の 他 金 融 業 (4.3%)		
オリックス	882.6	4,357,396
不 動 産 業 (6.9%)		
大東建託	829.2	3,085,453
野村不動産ホールディングス	3,578.6	3,934,670
合 計	62,840	101,375,209
株 数 ・ 金 額 銘 柄 数 < 比 率 >	36	< 98.9% >

(注1)銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2)評価額欄の< >内は、このファンドが組み入れている親投資
信託の純資産総額に対する評価額の比率。

(注3)評価額の単位未満は切り捨て。

明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド

運用報告書

第9期

(決算日 2025年7月25日)

「明治安田高配当サステナビリティ日本株マザーファンド」は、2025年7月25日に第9期決算を行いました。

以下、当マザーファンドの第9期の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	わが国の金融商品取引所に上場されている株式に投資することにより、信託財産の中長期的な成長を目指して運用を行います。
主 要 運 用 対 象	わが国の金融商品取引所に上場されている株式を主要対象とします。
組 入 制 限	株式への投資割合には、制限を設けません。 外貨建資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の20%以下とします。

◎最近5期の運用実績

決算期	基準価額	東証株価指数 (TOPIX)		株組比率	式入率	純資産額
		(参考指数)	騰落率			
(第5期)2021年7月26日	円 16,712	% 31.1	1,925.62	% 22.1	% 99.0	百万円 8,572
(第6期)2022年7月25日	19,723	18.0	1,943.21	0.9	98.6	10,359
(第7期)2023年7月25日	25,001	26.8	2,285.38	17.6	98.9	30,553
(第8期)2024年7月25日	32,513	30.0	2,709.86	18.6	99.0	57,667
(第9期)2025年7月25日	35,154	8.1	2,951.86	8.9	99.0	61,502

(注1)当ファンドは、予想配当利回りが市場平均を上回り、配当や業績等の安定性が高いと判断される銘柄を厳選し投資を行います。ファンドの運用方針に合った適切な指数が存在しないため、ベンチマークは設定しておりません。

(注2)東証株価指数(TOPIX)は、株式会社JPX総研が算出する株価指数であり、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社に帰属します。

◎当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	東証株価指数 (TOPIX)		株組比率	式入率
		(参考指数)	騰落率		
(期首)2024年7月25日	円 32,513	% —	2,709.86	% —	% 99.0
7月末	33,563	3.2	2,794.26	3.1	99.0
8月末	32,522	0.0	2,712.63	0.1	99.0
9月末	31,675	△2.6	2,645.94	△2.4	97.6
10月末	32,172	△1.0	2,695.51	△0.5	97.7
11月末	32,148	△1.1	2,680.71	△1.1	97.8
12月末	33,463	2.9	2,784.92	2.8	99.0
2025年1月末	33,051	1.7	2,788.66	2.9	99.0
2月末	32,554	0.1	2,682.09	△1.0	98.9
3月末	32,936	1.3	2,658.73	△1.9	96.1
4月末	32,678	0.5	2,667.29	△1.6	97.6
5月末	34,072	4.8	2,801.57	3.4	97.7
6月末	33,816	4.0	2,852.84	5.3	98.7
(期末)2025年7月25日	35,154	8.1	2,951.86	8.9	99.0

(注)騰落率は期首比です。

◎当期中の運用経過と今後の運用方針(2024年7月26日～2025年7月25日)

1 基準価額

基準価額の推移と主な変動要因



※参考指数は東証株価指数(TOPIX)であり、期首の基準価額に合わせて指数化しております。

基準価額は期首32,513円で始まり期末35,154円で終わりました。騰落率は+8.1%でした。

基準価額の主な変動要因は以下の通りです。

(上昇要因)

みずほフィナンシャルグループ、大和ハウス工業などが基準価額の上昇にプラスに寄与したこと

(下落要因)

本田技研工業やヤマハ発動機などは相対的にやや低調に推移したこと

2 運用経過

運用概況

期首の運用方針に基づき、わが国の金融商品取引所に上場されている株式(これに準ずるものを含む)を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持しました。

銘柄選定にあたっては、予想配当利回りが市場平均を上回り、配当や業績等の安定性が高いと判断される銘柄を厳選し投資を行いました。

当期は、期首に28銘柄を保有していましたが、期中に組入銘柄の見直しを行い、期末には31銘柄となりました。予想配当利回りや企業価値向上に向けたサステナビリティ(持続可能性)を評価した結果、日産化学、三井化学、小松製作所、丸井グループなどを新たに組み入れました。一方で、ヤマハ発動機、伊藤忠商事などはすべて売却しました。

3 今後の運用方針

引き続き、わが国の金融商品取引所に上場されている株式(これに準ずるものを含む)を主要投資対象とし、株式の組入比率を高位に維持する方針です。

銘柄選定にあたっては、予想配当利回りが市場平均を上回り、配当や業績等の安定性が高いと判断される銘柄を厳選し投資を行います。

◎1万口当たりの費用明細

項目	当期		項目の概要
	2024年7月26日～2025年7月25日		
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料	36円	0.108%	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料 ※期中の平均基準価額は32,887円です。
(株式)	(36)	(0.108)	
(b) その他費用	0	0.000	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 ※期中の平均基準価額は32,887円です。
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	36	0.108	

(注1) 期中の費用(消費税等のかかるものは消費税等を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

◎売買及び取引の状況(2024年7月26日～2025年7月25日)

○株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国	場	千株	千円	千株	千円
内	上	14,256 (17,020)	27,744,864 ()	17,235	26,544,576

(注1) 金額は受渡し代金。

(注2) 単位未満は切り捨て。

(注3) ()内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

◎株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期 中 の 株 式 売 買 金 額	54,289,440千円
(b) 期 中 の 平 均 組 入 株 式 時 価 総 額	59,079,381千円
(c) 売 買 高 比 率(a)／(b)	0.91

(注) (b)は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

◎利害関係人との取引状況等 (2024年7月26日～2025年7月25日)

期中の利害関係人との取引はございません。

(注)利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

◎組入資産明細表

○国内株式

上場株式

銘柄	期首	当 期 末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
建設業 (11.2%)			
長谷工コーポレーション	507.1	517.1	1,152,874
大和ハウス工業	527.7	302.2	1,520,066
積水ハウス	684.4	659.6	2,165,466
エクシオグループ	980.3	999.4	1,978,312
化学 (7.3%)			
日産化学	—	260.4	1,282,470
三井化学	—	508.9	1,756,213
積水化学工業	504.2	539.5	1,430,214
医薬品 (5.8%)			
武田薬品工業	584	531.3	2,298,935
アステラス製薬	757.5	824.3	1,217,903
ゴム製品 (3.9%)			
ブリヂストン	372.8	380.2	2,376,630
機械 (5.3%)			
小松製作所	—	362.5	1,956,412
THK	—	299	1,248,923
電気機器 (3.4%)			
キヤノン	555.4	514.9	2,080,196
輸送用機器 (5.1%)			
トヨタ自動車	333.1	549	1,530,063
アイシン	299.7	779.7	1,553,552
本田技研工業	1,175.3	—	—
ヤマハ発動機	943	—	—
情報・通信業 (10.1%)			
NTT	13,835.1	13,305	2,023,690
KDDI	515.2	712.1	1,778,469
ソフトバンク	1,085.9	10,645.6	2,322,869

銘柄	期首	当 期 末	
	株数	株数	評価額
	千株	千株	千円
卸売業 (12.1%)			
伊藤忠商事	312.1	—	—
三井物産	488.5	782.6	2,462,842
住友商事	632.3	644.5	2,503,882
三菱商事	670.1	792.7	2,405,844
小売業 (2.7%)			
丸井グループ	—	536.1	1,637,785
銀行業 (12.8%)			
三井住友トラストグループ	701.6	643.2	2,618,467
三井住友フィナンシャルグループ	245.2	649.2	2,586,412
みずほフィナンシャルグループ	—	575.2	2,608,532
保険業 (8.9%)			
MS&ADインシュアランスグループホールディングス	806.3	702.9	2,249,280
第一生命ホールディングス	519.5	2,114.2	2,511,669
東京海上ホールディングス	374.2	102.7	628,215
その他金融業 (4.3%)			
オリックス	769.5	774.7	2,635,529
不動産業 (7.1%)			
大東建託	126.2	128.6	1,984,298
野村不動産ホールディングス	565.4	2,775.4	2,364,640
合計	株数・金額	株数	金額
		28	60,870,663
	銘柄数<比率>	31	<99.0%>

(注1)銘柄欄の()内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。

(注2)評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。

(注3)評価額の単位未満は切り捨て。

(注4)－印は組み入れなし。

◎投資信託財産の構成

2025年7月25日現在

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株 式	60,870,663	99.0
コール・ローン等、その他	631,907	1.0
投資信託財産総額	61,502,570	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨て。

◎資産、負債、元本及び基準価額の状況

2025年7月25日現在

項 目	当 期 末
(A) 資 産	61,502,570,241
コール・ローン等	509,819,072
株 式(評価額)	60,870,663,820
未 収 配 当 金	122,081,000
未 収 利 息	6,349
(B) 純 資 産 総 額(A)	61,502,570,241
元 本	17,495,267,796
次 期 繰 越 損 益 金	44,007,302,445
(C) 受 益 権 総 口 数	17,495,267,796口
1万口当たり基準価額(B/C)	35.154円

◎損益の状況

自 2024年7月26日
至 2025年7月25日

項 目	当 期
(A) 配 当 等 収 益	2,231,604,354
受 取 配 当 金	2,229,600,363
受 取 利 息	1,999,256
そ の 他 収 益 金	4,735
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	2,587,962,567
売 買 益	5,188,612,823
売 買 損	△ 2,600,650,256
(C) 信 託 報 酬 等	△ 5,940
(D) 当 期 損 益 金(A+B+C)	4,819,560,981
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	39,930,888,735
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	10,245,833,755
(G) 解 約 差 損 益 金	△10,988,981,026
(H) 計 (D+E+F+G)	44,007,302,445
次 期 繰 越 損 益 金(H)	44,007,302,445

- (注1) 当親ファンドの期首元本額は17,736,914,525円、期中追加設定元本額は4,582,046,245円、期中一部解約元本額は4,823,692,974円です。
- (注2) 当親ファンドの当期末元本の内訳は、にいがた未来応援日本株ファンド4,020,169,633円、明治安田高配当サステナブル日本株ファンド(一般投資家私募)2,997,481,412円、明治安田高配当サステナブルESG日本株ファンド(適格機関投資家私募)2,869,776,028円、明治安田高配当サステナブルESG日本株時間分散型2023-3 2,725,944,151円、岐阜・愛知地域応援ファンド1,617,586,252円、にいがた未来応援グローバル株式ファンド1,563,044,015円、八十二 信州応援日本株ファンド1,122,626,775円、九州未来ファンド325,384,263円、明治安田日本株式ESG高配当Pファンド(非課税適格機関投資家専用)253,255,267円です。
- (注3) 1口当たり純資産額は3.5154円です。
- (注4) 損益の状況の中で(B) 有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注5) 損益の状況の中で(C) 信託報酬等には信託報酬等に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注6) 損益の状況の中で(F) 追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注7) 損益の状況の中で(G) 解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

【お知らせ】

- ・ 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、約款に運用状況に係る情報の提供について所定の整備を行いました。(2025年4月1日)